



令和7年度看護学部講演会・FD研修会 「一人ひとりの世界に寄り添うとは」開催

12月17日(水)看護学部伊敷キャンパスにて、看護学部学生と教員を対象に、「一人ひとりの世界に寄り添うとは」をテーマにした講演会・FD研修会が行われました。

講師は、米盛章子先生。
自閉症を抱える息子さんのお母さまでありながら、現在は訪問看護師としてもご活躍中の先生です。

ご講演は、息子さんの成長過程とそれを見守り支援してきた母親としての思いをはじめとして、看護職をはじめとする周囲の支援者との関わりの中での体験や、鹿児島県の支援体制の現状と課題、これからの看護職へ期待することや願いについて、お話くださいました。

障がいを抱える方とその家族にとって、周囲の関わり方や環境がどれだけ良くも悪くも影響を及ぼすのか、そして、他の地域と比べ、まだまだ発展途上である鹿児島県の障がい者福祉の現状について、学生、教員ともにそれぞれの立場で、支援者としての関りをどうすべきか考える良い機会になりました。

また、講演には息子さんのすばらしい作品もご持参いただき、学びの中に、芸術の癒しや心の豊かさを感じるとても良い時間になりました。
米盛先生、貴重なご講演を誠にありがとうございました。



息子さんの作品にかこまれながら
お話くださった米盛先生



実習を終えたばかりの3年生も
多数参加し、真剣に話を聴いていました



息子さんの作品に学生も教員も
魅了されていました

